



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700

一日も早い
「信頼・回復」を
目指す市政を

9月
定例
議会
報告

「信頼・回復」再生山梨市を目指して ・前市長の逮捕で市長不在の定例議会が閉会



山梨市議会議員 古屋まさお

不正採用事件を質す「市民の会」

私が所属する「市民の会」では代表質問において、逮捕された前市長の事件を中心に採用等の公平公正に向けた市政運営を追及した。以下主な内容

- (1) 職員の採用不正採用者(複数)について厳格な対応を行うこと。同時に不採用となった人に対し復活採用等を打診するよう検討すること。
 - (2) 不正採用事件で共謀が疑われている職員については、その結果を踏まえた自らの決断及び厳重な処分が必要である。
 - (3) 平成27年に導入した昇任試験について疑義を感じる。試験の筆記・面接・採点等の試験内容の合否判定のプロセスを公表することを求める。
- なお、総務常任委員会では、ただ一人「古屋雅夫」議員が本事件となった原因等を追究した。

平成28年度決算を踏まえた財政の概要

平成28年度決算における山梨市の財政健全化判断比率状況は、一般会計、特別会計において実質収支が赤字でなかつ

異例の市長不在の中で行われた9月定例会、会期は8月30日～9月22日までの24日間。通常は市長の所信表明で始まる議会。今回は8月7日に職員採用を巡って、前市長望月清賢容疑者が虚偽有印公文書作成、同行使の容疑で逮捕、その後8月21日に収賄の疑いで再逮捕され起訴された。

8月12日には、ついに弁護士を通じ退職届(辞職)が議長に提出され受理された。※(弁護士を通じ、退職金約1300万円は受け取る意思はないとのこと!当然である)9月定例会はそんな以上事態の中、全国から注目される中で開催され、市長職務代理者(飯島尚敏副市長)が開会あいさつを行い、「本事件が捜査中であるが捜査には全面的に協力を行い、行政の停滞、市民サービスの低下をさせないよう職員一丸となって職務に精励し信頼回復に全力を上げる」ことの決意をのべた。

本議会では望月容疑者(前市長)の逮捕、不正採用等、市政運営について本会議では質問、追及が集中した。

また、本議会は平成28年度決算審査が行われ、歳入総額は223億1317万円余(前年比8%増)、歳出総額は210億912万円余(前年比8.3%増について改ざんがなされていないこと確認し、3日間の決算特別委員会の審査を得て、本会議において全会一致で認定された。また、条例の一部改正、及び補正予算についても全会一致で可決。最終日に追加議案として提出された「飯島尚敏」副市長の退職届を承認した。

特に「古屋まさお市議」は決算特別委員会においてその審査の中心的役割を果たし、70項目を超える質問等を行い、チェック機能の役割を果たした。

たこと。企業会計では資金剰余金があり資金不足にならないことで、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率とも数値の表示はありません。

実質公債費率は11.6%(前年比0.2ポイント改善)、将来負担率は上昇し129.2%(前年比13.4ポイント上昇)、平成27年度から引き続き悪化しています。今後は標準財政規模が縮小し、公債費が増加していくことが見込まれることから、数値はさらに上昇されるものと予測されます。

→裏面②続く

山梨市の未来に向けて再出発

前市長（望月被告）が起こした事件（不正採用）は、全国に連日報道され、山梨市民にとっては恥ずかしい思いでいっぱいです。市のトップが職員に支持し共謀した不正採用事件、まさに行政の「信頼」を失ってしまいました。

今後は新市長の元で、この事件の原因の検証を行い、「人身一新」を含め「信頼の回復」に向けた新たな体制の確立、職員の倫理感の醸成をしっかりと図り、合わせて悪しきしがらみを断ち切り、まさにクリーンで透明な市政運営を推進していくことが山梨市の再生の第1歩であると考えています。

カナダ出身で精神科医エリックバーンの言葉に「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」があります。

山梨市に置き換えてみると、これからの山梨市の未来をどれだけ「想像して創造するか」で変えていく事ができると考えています。この事件を機に「二度と過ちを繰り返させない」山梨市づくり。そして未来を担う子供たちのため、子々孫々まで誇れる郷土・山梨市の再生に向け「人・街・元気」！を合言葉に再出発していきましょう。（まさお）



← 巨峰の丘マラソン

→ 決算特別委員会



→② 表面より

常に安全領域を堅持しつつ、効率的な財政運営に努めていく必要があります。

議会・議員はしっかりチェック機能を引き続き果たしていく必要があります。

【参考】

- ・公債費残高は前年比26億3740万円増の237億3,168万円余
- ・ふるさと納税を原資とした「ふるさと輝き基金」を含む、山梨市の7つの基金総額は52億8977万円余を保有しています。

※ 詳細は広報「やまなし」で掲載されます。

「古屋まさお」市議が決算特別委員会審査で質問した事項（一部）

（1）決算額について改ざんはあるか？

（答）決算数値は決算統計調査によって県に報告した数値であり、数値の改ざんはない。適正に処理されたものであることを確認した。

（2）農業振興費のうち「果樹の販路拡大のためのJ A フルーツ山梨へ支出した補助金の一部を市長のトップセールス費用に充てていたことを指摘。

（答）改善に向け検討する。

（3）「ふるさと納税」者の返礼品、支出額等について

（答）H28年度の寄付金件数は1309件、寄付額は1億7368万4100円。返礼品は1万円以上の寄付者、購入額は6,658万円余、寄付額の約3割程度の品、扱い業者はJ A フルーツ山梨を含め15社。

また、他市への寄付数は154件・2800万円余で、税控除は約44万円余。

（4）商工振興資金の貸付状況について

（答）市の預託金1億円、金融機関で1億円を用意し、合計2億円で貸付融資を行っている。H28年度は48件、1億4600万円余の融資を行い市が利子補給を行っている。

★★★★★ あとがき「古屋まさお一言」 ★★★★★



▼9月議会本会議、委員会等は連日マスコミ取材が殺到、前市長が起こした事件、全国に汚名を残し市民は大迷惑。共謀し不起訴となった職員の処分、不正採用された職員の扱い等が今後の課題▼「小人数学級実現、義務教育費国庫負担金制度の拡充」を図るための請願が、2年ぶりに全会一致で採択されました。とても嬉しい！！▼「高木はるお」新市長のもとで山梨市の「信頼・回復」と再生に期待致します。

<http://www.e-masao.net/>